

情報科学科総合型選抜 Q & A

津田塾大学
学芸学部情報科学科

Q：総合型選抜はどのような試験でしょうか？

A：研究テーマに自分なりに取り組み、研究し、その結果を発表する入試です。研究テーマに自分なりに取り組み、研究した結果を小論文にまとめ、面接試験で発表してください。発表の後、質疑応答をします。

Q：どのような点が評価されるのでしょうか？

A：最終的な結果よりも、そこに到達するまでの過程を重視します。

どのように考え、どのような方法を使い、どのような態度、姿勢、意欲でテーマに挑戦したかを評価します。そうして取り組んだ結果を他の人に効果的に伝えられるかどうかも評価の対象です。さらに、過去に行ってきたさまざまな活動や成果も評価します。

Q：質問期間は利用したほうがよいのでしょうか？

A：ぜひ利用し、質問してください。

テーマに関する理解が深まるでしょうし、みなさんと大学がお互いを理解する助けにもなるはずです。一人ひとりの学生の質問にきちんと答えること、これは少人数教育を実践する本学科の特長の一つです。質問期間を利用して、自分の疑問にきちんと答えてもらえるかどうかを確認してみるのもよいでしょう。今年度は、作品の提出方法についての相談も質問期間に行う予定です。

Q：学校推薦型選抜（公募制）とは、どこが違うのですか？

A：学校推薦型選抜（公募制）は、問題を解いて正解を求め、それに関する質疑応答を行う試験です。一方、総合型選抜は、テーマに挑戦し、その結果を発表するという試験です。

総合型選抜の課題となるテーマのなかには、そもそも「正解」がないものもあるかもしれません。じっくり、自分なりの方法でテーマに挑戦してください。自分で考えるのはもちろんですが、学校の先生に聞いてもいいですし、インターネットで調べてもよいでしょう。

そしてその結果を自分なりに工夫して発表してください。

Q:情報科学科には、なぜ、いろいろな入試があるのですか？

A:さまざまな個性をもった学生に集まってほしいからです。

徹底した少人数教育を実践する本学科は、違うタイプの学生がお互いに刺激し合える学びの場をめざしています。

以上